

令和5年度 学校評価アンケート集計結果

宮城県宮城広瀬高等学校

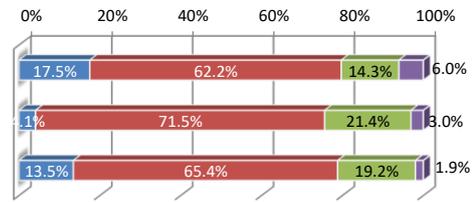
実施日: 令和5年11月22日(水)～11月30日(木)

有効回答率: 生徒92.7%, 保護者等58.9%, 教職員100%

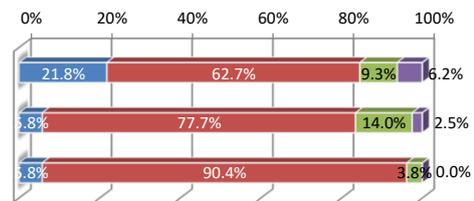
生徒・保護者・教員 基本データ

適合度: 1 よく当てはまる 2 だいたい当てはまる 3 あまり当てはまらない 4 当てはまらない

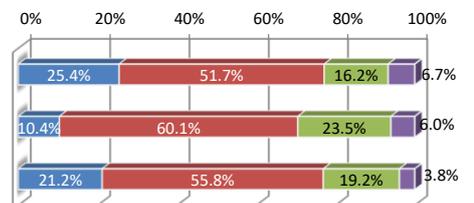
対象	質問項目	1	2	3	4
問1 生徒	生徒の学ぶ意欲を引き出し、基礎学力を身につけられるような授業が行われている。	102	362	83	35
問1 保護者	生徒の学ぶ意欲を引き出し、基礎学力を身につけられるような授業が行われている。	15	261	78	11
問1 教員	生徒の学ぶ意欲を引き出し、基礎学力を身につけられるような授業を行っている。	7	34	10	1



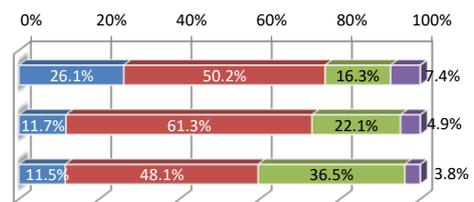
対象	質問項目	1	2	3	4
問2 生徒	学校として、スクールポリシーに基づいた教育課程が編成・実施されている。	127	365	54	36
問2 保護者	学校として、スクールポリシーに基づいた教育課程が編成・実施されている。	21	282	51	9
問2 教員	学校として、スクールポリシーに基づいた教育課程が編成・実施されている。	3	47	2	0



対象	質問項目	1	2	3	4
問3 生徒	生徒にとって、挨拶や公共でのマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。	148	301	94	39
問3 保護者	生徒に対して、挨拶や公共でのマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。	38	220	86	22
問3 教員	挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣確立の生活指導を行っている。	11	29	10	2



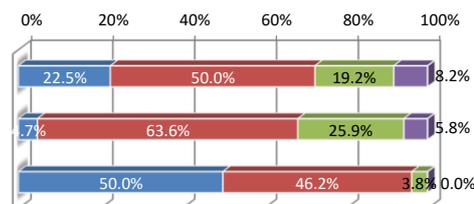
対象	質問項目	1	2	3	4
問4 生徒	学校として、部活動は活発に行われている。	152	292	95	43
問4 保護者	学校として、部活動は活発に行われている。	43	225	81	18
問4 教員	部活動に活発に取り組ませる指導を行っている。	6	25	19	2



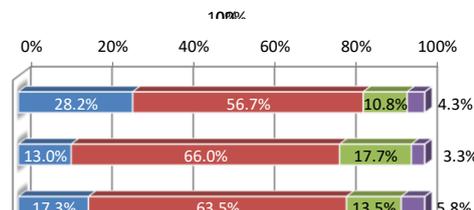
対象	質問項目	1	2	3	4
問5 生徒	学校として、生徒会活動は活発に行われている。	154	321	68	39
問5 保護者	学校として、生徒会活動は活発に行われている。	16	270	66	8
問5 教員	生徒会活動に活発に取り組ませる指導を行っている。	6	36	10	0



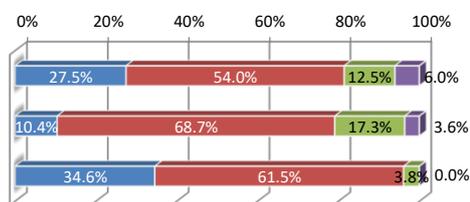
対象	質問項目	1	2	3	4
問6 生徒	学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。	131	291	112	48
問6 保護者	学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。	17	231	94	21
問6 教員	学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組み、いじめ問題に対する取組方針を保護者と共有している。	26	24	2	0



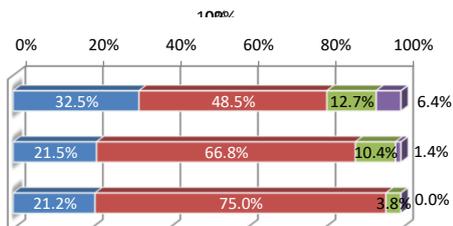
対象	質問項目	1	2	3	4
問7 生徒	生徒にとって、進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。	164	330	63	25
問7 保護者	生徒にとって、進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。	48	243	65	12
問7 教員	進路目標の明確化に向けた適切な指導を行っている。	9	33	7	3



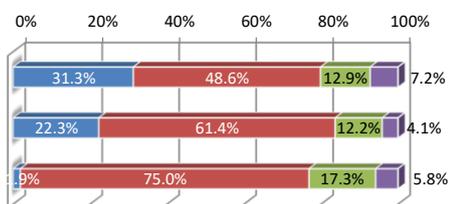
	対象	質問項目	1	2	3	4
問8	生徒	生徒にとって、教員やカウンセラー等が必要な時に相談に応じてくれる体制ができている。	160	314	73	35
問8	保護者	生徒にとって、教員やカウンセラー等が必要な時に相談に応じてくれる体制ができている。	38	250	63	13
問8	教員	教員やカウンセラー等が必要な時に相談に応じてくれる体制をとっている。	18	32	2	0



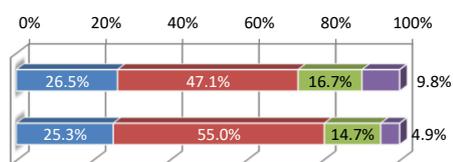
	対象	質問項目	1	2	3	4
問9	生徒	自分にとって、有意義な学校行事がある。	189	282	74	37
問9	保護者	生徒にとって、有意義な学校行事がある。	79	245	38	5
問9	教員	学校行事に積極的に取り組ませる指導を行っている。	11	39	2	0



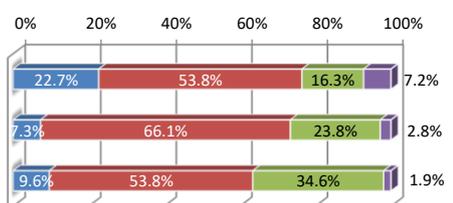
	対象	質問項目	1	2	3	4
問10	生徒	自分にとって、学校生活は充実している。	182	283	75	42
問10	保護者	生徒の学校生活は充実している。	82	226	45	15
問10	教員	生徒は充実した学校生活を送っている。	1	39	9	3



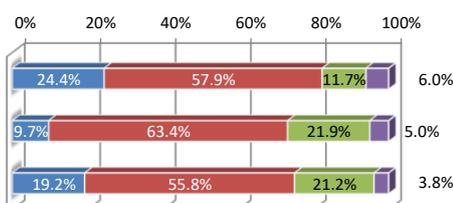
	対象	質問項目	1	2	3	4
問11	生徒	宮城広瀬高校に入学して良かったと思っている。	154	274	97	57
問11	保護者	宮城広瀬高校に入学させて良かったと思っている。	93	202	54	18



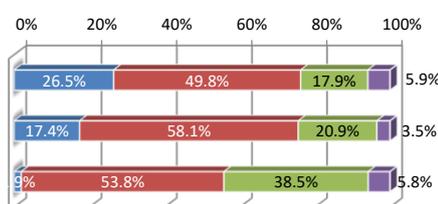
	対象	質問項目	1	2	3	4
問12	生徒	学校として、特色ある学校づくり(ボランティア・地域連携活動)に取り組んでいる。	132	313	95	42
問12	保護者	学校として、特色ある学校づくり(ボランティア・地域連携活動)に取り組んでいる。	26	236	85	10
問11	教員	特色ある学校づくり(ボランティア・地域連携活動)に取り組んでいる。	5	28	18	1



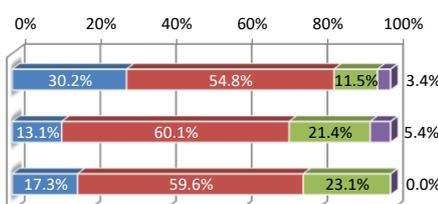
	対象	質問項目	1	2	3	4
問13	生徒	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている。	142	337	68	35
問13	保護者	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている。	35	229	79	18
問12	教員	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている。	10	29	11	2



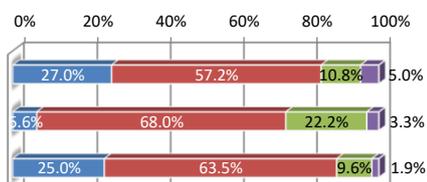
	対象	質問項目	1	2	3	4
問14	生徒	スタディサプリは有効に活用されている	108	203	73	24
問14	保護者	スタディサプリは有効に活用されている	45	150	54	9
問13	教員	スタディサプリは有効に活用している	1	28	20	3



	対象	質問項目	1	2	3	4
問15	生徒	保護者に対して、学校便り・進路便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている。	176	319	67	20
問15	保護者	保護者に対して、学校便り・進路便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている。	44	202	72	18
問14	教員	学校便り・進路便りなどによって、学校の情報を適切に保護者へ伝えている。	9	31	12	0



	対象	質問項目	1	2	3	4
問16	生徒	生徒に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。	157	333	63	29
問16	保護者	保護者に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。	22	227	74	11
問15	教員	災害・非常時の避難方法や連絡方法を生徒・保護者に伝えている。	13	33	5	1



学校評価アンケート結果全体分析（自己評価）

※ 以下では「よく当てはまる」と「大体当てはまる」の数値の和を「満足度」とみなす。

（１）生徒と教職員の乖離度（教職員満足度－生徒の満足度）

① 教職員の満足度は高いが、生徒の満足度は低い項目（質問番号は生徒用の番号）

問 6 「いじめの早期発見」（23.6）（昨年度29.3）

問 8 「教員やカウンセラー等の相談体制」（14.7）（昨年度18.3）

問 9 「学校行事」（15.2）（昨年度18.1）

② 教職員の満足度は低い、生徒の満足度は高い項目

問 14 「スタディサプリ」（-20.5）（昨年度-6.4）

問 12 「特色ある学校づくり」（-13.0）（昨年度9.1）

問 2 「教育課程」（-11.6）（昨年度11.9）

※ 問 2 「教育課程」は昨年度は①に該当した項目である

（２）満足度の並び

① ベスト3

生徒 1 学校情報の伝達, 2 進路目標の明確化, 3 教育課程

保護者等 1 学校行事, 1 学校生活の充実, 3 教育課程

教職員 1 いじめの早期発見, 1 教育相談体制, 1 学校行事, 1 教育課程
(すべて同率1位)

② ワースト3

生徒 1 いじめの早期発見, 2 入学して良かった, 3 スタディサプリ

保護者等 1 いじめの早期発見, 2 基本的な生活習慣, 3 部活動

教職員 1 スタディサプリ, 2 部活動, 3 特色ある学校づくり

（３）満足度の経年変化において2年連続で上昇している項目

生徒 コロナ前とほぼ変わらない通常通りの学校生活に戻ったことで、多くの項目で2年連続で上昇した。

保護者等 「生徒会活動」「学校行事」「施設設備」「学校生活の充実」4項目が該当。特に学校行事については大きな改善が見られる。

教職員 「学校行事」、「施設設備」「学校生活の充実」「教育課程」の4項目

(4) 自由記述

① 生徒用

校則についての要望は毎年多く寄せられる。単にわがままな要求をしているだけのものもあるが、中には「なぜ駄目なのか」といった説明を求めるような意見もある。ブラック校則が社会問題化する、生徒指導提要が改訂されるなど、校則に対する社会の関心が高まる中、生徒も校則に対して意識を高くもち、生徒なりに考える機会が増えてきているのではないかと推察される。

学校行事についてはアンケートの数値としては改善したが、もっと学校行事が欲しいという意見が多くみられた。各学校行事はコロナ前とほぼ同様のものが行われているほか、楽天野球観戦も追加されている。

その他、相談しやすい環境づくりやいじめのない学校づくり、先生方とのコミュニケーション、部活動の活性化について記述が見られた。

② 保護者等用

学力向上と進路目標達成についての記述が多くみられた。学力の向上については授業の環境改善も重要であるが、家庭学習習慣の確立が最も大切である。生徒を育てていく体制づくりについて学校と家庭が協力できるよう保護者等への理解を求めていく方策を考えたい。進路に関しては、おおむね良好な評価を得ている。

情報発信については、昨年度はホームページの活用について厳しい意見が相次いだが、今年度は見られなくなった。部活動のページの更新をはじめ、古い記事の削除、新しい情報の掲載、学校便りの掲載といった取り組みを評価していただいたものと考えている。配付物は保護者の手元になかなか届かないようであり、メール配信は非常にありがたいという声は多い。今後も積極的に連絡事項を配信していくよう努めていく。

(5) まとめ

いじめや教育相談に関する項目は、毎年のものであるが生徒や保護者等と教職員の満足度が大きいに乖離する傾向にある。本校は、いじめアンケートや学校生活アンケートを毎月行い、何か記述があれば速やかに対応している。十分に丁寧で迅速な対応であると考えているが、それでもいじめや教育相談への対応を求める声が多い。SNS上でのいじめなど表から見えにくいタイプが増加し、発見しにくくなっていることが要因なのではないかと考える。今年度より、生徒指導部と保健指導部が連携してLHRを活用してSNS等の適切な使用について講演会を開催した。従来のアンケートによる丁寧な聞き取りと合わせて、このような啓発活動を継続していくことが大切であろう。

令和5年度学校評価（学校関係者評価）

1 学習指導について

- ・教育課程は学校の教育目標達成のためのグランドデザインでありカリキュラムはその一部であるから学習指導要領の改訂に合わせて柔軟に取り扱って欲しい。
- ・地域社会の資源を活用し高校の次のステップに向けた体験的な学びを期待する。
- ・ICT を活用して教員の負担軽減も視野に入れていただきたい。
- ・学習に関しては先生方の熱意と生徒の受け取りにギャップがあるように見える。学ぶことの意義を明確に示すと良いと考える。

2 生徒指導について

- ・いじめについて生徒や保護者の評価が低く対策に不十分な点がないか気になる。
- ・いじめは必ずあるものと心得て対応するとともに、卑怯なふるまいで犯罪であることを指導する必要がある。
- ・SNS 等の正しい使い方を学ぶ機会を積極的に作ってほしい。
- ・部活動や生徒会活動は活発で地域にも貢献していると考ええる。応援団の復活は素晴らしいことであり、これを機に校則も含めて生徒の自治意識を育ててほしい。

3 進路指導について

- ・個々に寄り添った指導の継続を期待する。
- ・OB から話を聞く会や地域で働く人々を集めたワークショップで聞きたい人の話を聞く時間を設定するなど、現実を知ったうえで進路選択ができるように工夫してほしい。

4 保健指導について

- ・コロナ禍以降男子の鬱傾向がさらに高まっているとの報道があるので一層の配慮をお願いする。
- ・校内の情報共有を図り危機管理に当たってほしい。
- ・SC、SSW の活用についてメール等を活用した積極的な周知があると良い。

5 その他（学校生活全体について）

- ・今年度より学校行事が完全に再開され学校生活もより充実したものとなっているようである。地域としてボランティア活動に参加してもらいなどの働きかけを行っていきたい。
- ・学校行事を、失敗を恐れずにできる範囲で生徒主体で進めさせ、自治意識を育ててほしい。それが母校へ対する帰属意識につながる。
- ・物おじせず人前で自分の意見を述べるような生徒を多く育ててほしい。
- ・学校生活の中で発生する諸問題には生徒に寄り添った対応ができていると思う。
- ・情報発信についてはHP やお便りよりもメールが効果的であり、積極活用をしてほしい。